
「ARGOS 専用 Barrett Universal 式の精度検討」研究に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療録情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB 委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2022年8月1日から2023年11月30日の期間に埼玉医科大学病院アイセンターを受診し、白内障手術前検査および白内障手術を施行した白内障患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

白内障は、水晶体が徐々に濁り視力が低下していく病気です。白内障手術では、濁った水晶体を取り除いて人工水晶体（以下 IOL）を眼内に挿入します。患者さんの生活環境や希望に合わせた見え方になるように、IOL の度数を計算しています。計算式や測定機器は日々進歩していますが、遠視や近視の度数が強い患者さんの場合は予測誤差が出やすいことが知られています。本研究において、白内障手術を終えられた患者さんの術後の見え方を比較分析し、より最適な計算式の選択について検討します。

この研究結果により、手術後の度数ずれを少なくし、より患者さんの希望に合わせた見え方を提供できる可能性があります。

3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2024年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年1月29日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

年齢、性別、術眼、治療内容、既往歴、矯正視力(log MAR)、白内障術前屈折値、角膜乱視量、眼軸長、移植眼内レンズ名

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である橘縁が、個人が特定できないように加工したうえで管理致します。そのため、患者さんのプライ

バシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

白内障手術前検査および白内障手術を施行した白内障患者さんの診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 眼科 橘 緑（研究責任者/視能訓練士）

埼玉医科大学病院 眼科 青柳 林太郎（視能訓練士）

埼玉医科大学病院 眼科 吉川 祐司（講師/医師）

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学病院】 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 眼科 講師 吉川 祐司

住所：〒350-0495 埼玉県毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1295（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：ARGOS 専用 Barrett Universal 式の精度検討

○研究責任者：埼玉医科大学病院 眼科 視能訓練士 橘 緑